

NEWS RELEASE

2010年3月11日
株式会社三菱総合研究所

2009年10-12月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 田中将介 東京都千代田区大手町二丁目3番6号）は、内閣府より3月11日に発表された2009年10-12月期GDPの2次速報値(2次QE)を受け、2月16日当社発表の「2009～2011年度の内外景気見通し」におけるGDP予測値の改定を行った。

◆予測結果 ー実質GDP成長率は09年度▲2.3%、10年度+1.4%、11年度+1.5%

実質GDP成長率は、09年度▲2.3%、10年度+1.4%、11年度+1.5%と予測する（1次QE時からの変更は09年度▲0.1%ポイント、10年度+0.1%ポイント、11年度変更無し）。

本日発表された2009年10-12月期の2次QEは、民間在庫品増加（寄与度）や設備投資の小幅下方修正により、▲0.2%ポイントの下方修正（実質季調済前期比1次QE+1.1%→2次QE+0.9%）となった。この結果を受けて、09年度は小幅下方修正する一方、10年度は小幅上方修正した。

足元の動向をみると、輸出の回復や政策効果の持続により、日本経済は緩やかな回復を続けている。回復が遅れていた設備投資についても、7四半期ぶりに季調済前期比プラスの伸びに転じ、下げ止まりの兆しをみせている。先行きについては、既往の政策効果の漸減や公共投資の大幅削減を背景に、10年度前半にかけて成長率は低めの伸びに止まる可能性があるものの、全体として緩やかな回復を続けていくとの基調判断に変更はない。

図表 日本経済見通し総括表

					前回(1次QE後、2月16日)		
	2008年度 実績	2009年度 予測	2010年度 予測	2011年度 予測	2009年度 予測	2010年度 予測	2011年度 予測
(単位:前年度比)							
名目国内総生産(名目GDP)	▲4.2%	▲4.0%	0.2%	0.6%	▲3.9%	0.1%	0.5%
実質GDP	▲3.7%	▲2.3%	1.4%	1.5%	▲2.2%	1.3%	1.5%
民間最終消費支出	▲1.8%	0.8%	1.2%	0.5%	0.7%	1.1%	0.5%
民間住宅投資	▲3.7%	▲18.5%	2.3%	4.2%	▲18.6%	2.3%	4.2%
民間設備投資	▲6.8%	▲15.7%	2.0%	4.7%	▲15.6%	2.0%	4.7%
民間在庫品増加(寄与度)	▲0.1%	▲0.5%	0.2%	0.0%	▲0.4%	0.1%	0.0%
政府最終消費支出	▲0.1%	1.9%	1.2%	0.4%	2.1%	1.5%	0.4%
公的固定資本形成	▲6.6%	7.8%	▲14.3%	▲5.5%	7.5%	▲14.5%	▲5.5%
財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***	***	***
財貨・サービス輸出	▲10.4%	▲11.2%	10.9%	8.1%	▲11.2%	10.9%	8.1%
財貨・サービス輸入	▲4.2%	▲12.2%	7.4%	6.1%	▲12.2%	7.4%	6.1%
寄与度							
内需寄与度	▲2.5%	▲2.1%	0.7%	0.9%	▲1.9%	0.6%	0.9%
民需寄与度	▲2.3%	▲2.7%	1.0%	1.0%	▲2.6%	0.9%	1.0%
公需寄与度	▲0.3%	0.7%	▲0.4%	▲0.1%	0.7%	▲0.3%	▲0.1%
外需寄与度	▲1.2%	▲0.3%	0.8%	0.6%	▲0.3%	0.7%	0.6%
GDPデフレーター	▲0.5%	▲1.8%	▲1.2%	▲0.9%	▲1.8%	▲1.2%	▲1.0%

資料：実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区大手町二丁目3番6号
 政策・経済研究センター 武田洋子、対木さおり 電話 03-3277-0594 FAX 03-3277-0545 stsui@mri.co.jp
 尚、本資料は内閣府記者クラブに資料配布致します。